

北八ヶ岳：天狗岳

- ◆日程 2017年1月21日(土)～1月22日(日)
◆メンバー L：須田健、大村、小山田、富田

1月21日(土)

八王子駅で集合し、あずさで茅野駅まで移動。須田さんが指定席のチケットを予約してくれていたのので、座って行くことができた。茅野駅から渋の湯までは、通年バスが運行されており、今回も同じ時間帯に臨時バスが1台でていた。途中でバスがチェーンを巻くために停止した。チェーンは後部出入りに置いてあったので、たまたま後部に座っていた私はチェーンを装着する間寒い思いをした。

渋の湯に到着しバスを降りると硫黄の匂いがほのかにしていた。ここから、本日のテント場の黒百合平までは森林の中を歩く。歩いていると、中高年のツアーらしき一行と何度か出くわす。我々一行も立派な中高年だが、出くわす一行にくらべると、まだまだ若輩者である。荷物をみると小屋泊まりであるのは、一目瞭然であるが元気に会話している姿を見ると、なんだか励まされているような気がした。黒百合平ヒュッテに到着した。想像してよりも行程が長く感じた。テント場は広くはないが小屋のすぐ近くにある。到着時点でテントの数は5張りぐらいで多くない。環境保護のため、テント場はロープで制限されており少々圧迫感があった。

テント設営後、小屋の近くの西側斜面でラッセルの訓練をした。私は情けないことに、テント設営中に左手中指の感覚が無くなり、しばらく小屋の中で休憩して参加した。ラッセル訓練の終了後、お待ちかねの宴の時間である。小山田さんが準備した鍋に舌鼓しながら、隠し持つように担ぎあげてきたアルコールは最高であった。



CT：11:50 渋の湯～13:00 分岐～14:30 黒百合ヒュッテ、15:00 から雪訓

1月22日(日)

二日目は、西天狗を空身で往復である。ルートの的には特に問題点はないが、標高が低い割には、稜線に出ると、風が強くて苦戦を強いられた。身の危険を感じるほどではないが、所どころ緊張感とスリルを感じる箇所があった。特に東天狗付近から傾斜も強く、風も舞っていたため、ルート自体が解りづらかった。トレースがついているが、先行者が間違ったトレースをつけてしまったために、後続者が間違ったトレースを信じて後を追ってしまったために、よりトレースがしっかりついてしまった。このことに、気が着かずに我々もルートを間違えてしまった。東天狗から西天狗は、東天狗手前で苦労した分、呆気なかった。西天狗山頂で登頂の証拠写真を取り、同じルートをすぐさま下山する。

茅野駅の蕎麦屋にて、昼食を摂る。馬刺しをつまみに生ビールをグビットやる最高の時間が来た。中生ビール一杯では我慢が出来ずに、すぐさま中生ビール一杯注文してしまった。本来ならば、この流れで地酒も注文したい所だが、ここはぐっと我慢した。帰りの電車は地酒を我慢したかいもあって、無事に帰宅することができた。

CT : 7:00 ヒュッテ～8:30 東天狗～10:00 ヒュッテ～13:00 洪の湯

(記 : 大村)